

CoolCHOICE
インタビュー

11月里山イベント

ますほ里山暮らしを学ぶ会

2017年
11月26日(日)
晴水 ☀



5月に皮をむいておいたカラカラのヒノキ

ロープ2' 倒したい方向にひっぱる
ロープの先にはおま!



体験してきました!
 山梨県はほとんどが森!!
 手入れがされていない、真暗な人工林は、CO2を殆ど吸いません。
 楽しみながら、あそびながら、あきらめなくて、手入れをつづけています。

倒したらみんなで枝おとし玉切り!



山際真理さん

感謝とともに...
 明るくなった地面には、かわいい実生が☆

お昼ごはんは、

薪&炭&ソーラーで持ち寄りCooking!



先日、このくらいちっちゃい薪3本で、お米7合炊けちゃいました!



はがまトマトスープ



生竹ぐしウインター



おき火で焼魚

トマト缶×ミルク缶で作ったウッドガスストーブ

ワールドカフェゲストハウス 山口さんFamily

片後は弓矢づくり

まずは材米斗さがし!!
 細くてしなる木を探してください☆
 枯れ木は折れるのでNGですよ~



木の造形家 斎藤公太郎さん

完成したらみんなでお山にむかってとばし大会!!



せいでこのものんびりだけとひとときどきした!!

◆山梨県地球温暖化防止活動推進員 地域リーダー育成セミナー 報告

11月16日(木)、甲府市の防災新館を会場に、『より効果的に温暖化防止対策を伝えるためのノウハウ習得』を目的とした、ワークショップ(参加型)形式のセミナーが開催されました。参加者は、推進員や行政担当、市民活動家をあわせて約30名ほどが集まりました。講師は、一般社団法人 地球温暖化防止全国ネットより、井原妙さんをお迎えし、井原さんが開発された教材(=ツール)を活用しながらの体験会からスタートしました。

まずはじめに、グループごとに席について、自己紹介タイム。参加型プログラムの準備運動として、クイズ『暖冷たべものゲーム』に挑戦、身体を温める食べものと冷やす食べ物について考えました。冬や夏の気候に合わせて食べもので体温調節することで暖房器具に頼らない生活を！という投げかけに、皆さんうなづいていました。

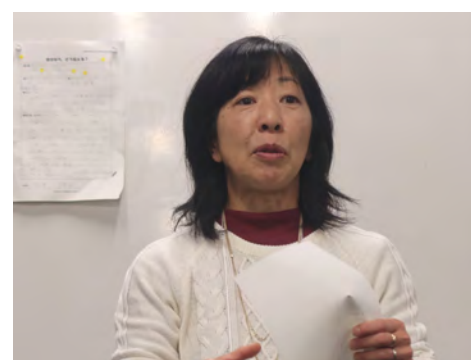
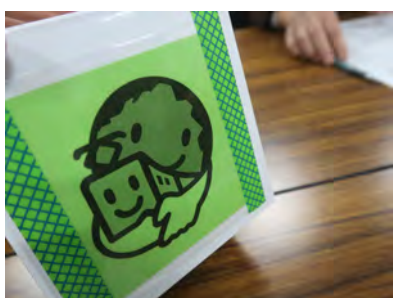
続いて、『OOBOX』というツール。イラストやキーワードが書いてあるたくさんの箱を使って、“生態系ピラミッド作り”を体験しました。さらにその後は参加者全員で“生活エネルギーがどのように家庭に届くか”をテーマに皆で考えながらBOXを積み上げていきました。正解がひとつではなく多様な考えがやりとりされる様子もおもしろかったです。指導法の留意点は、現代の子ども達はインターネット検索をすれば何でもわかったような気になってしまう時代なので、こういった体験を通して皆で議論すること、自分の考えをまとめて述べる場をもつこと、他者の違う意見にもふれながら自分達なりの答えを導き出すことの重要性を理解しました。そして、まさにそれが、温暖化解決の方法を見出すために重要なプロセスであることも確認しました。



午後は、自分たちの活動の中で、どのように「参加型」の場面を効果的に活用できるのかを考えながら、30分ほどのプログラムをイメージしながら、シートに記入をしてみました。グループ内での発表の後、素晴らしいプログラムに投票をしあって、全体の前でのお披露目会となりました。今回選ばれた4つのプログラムは「ソーラークッカーでポップコーンを作って食べよう!」「自給自足をめざして!太陽で干し芋作り」「LCA=ライフサイクルアセスメントの視点を持って物を選ぼう」「森で遊んで拾った木の枝でピザを焼こう」が紹介されました。どのプログラムも、参加者が意欲的に参加できるような楽しい場面や、参加者が自ら考えられるような問いかけの場面、参加者自身の身近な事柄との関連付けなど、伝える工夫が凝らされている内容となっていました。

最後のふりかえりでは、次の研修会では、実際にツールを皆で作って、お土産に持ち帰れるような内容を期待している!という声や、絵が描ける方や物づくりの得意な方が推進員同士でいらっしゃるので、もっとつながりあって課題解決につなげたい、というコメントも出されていました。

★今回、紹介されたツールはJCCCAが貸出しています(貸出無料・送料必要)。興味のある方は、山梨県地球温暖化防止活動推進センターまでご連絡ください。インターネットをご覧になれる方は、「JCCCA・貸出ツール」で検索してください



体験レポート!!

持続可能な社会づくりの 過去・現在・未来

2017年
10月21日(土)
@甲府市役所



第一部 基調講演 **鈴木嘉彦さん** (山梨大学名誉教授 やまなしエコネットワーク代表)



★現代の「豊かさ」とは、よお金を使うこと?



香! それでは経済は循環しても、物質は循環してない!!
つまり持続不可能!!

ここからは...

- これまでの取り組み
- 山梨大 循環システム工学科の創設
 - 小水力利用推進・地中熱利用推進
 - スマートフロンティア甲府から・Mt. Fujiイノベーションエンジン
 - FMハケ岳の工業界講演
 - やまなしエコネットワークの活動etc...

みんなが情報を循環させて
あたらしい価値感へ!!

そして最近、地域の自治会長役を通じて、「少子高齢化時代の持続可能な社会づくり」探ります。
みんなが考えよう!!

ポジティブにゆこう!

第二部 パネル討論会 「何ができたか・何ができるか」

コーディネーター 鈴木嘉彦さん

NPO法人スポーツアイ 永井寛子さん

つらごみを減らすためのしくみづくりを!
もと全国に広めたい。
何でも行政と一緒にやろう!

山梨県環境カウンセラー協会 城野伸一さん

工業団地をゴミゼロに!
雨水利用
タンク制作啓発
交流すること
発展してゆこう!

小瀬を日本一のエコスタジアムに!
NPO法人みどりの学校 青澤公子さん

子育て中のお母さん達が始め2.15年。
2003年「国母お母さま発電所」子どもたちに環境学習プログラム

ライトダウン やまなし実行委員会 足部浩一さん

「山梨は星の産地」みんなの手をとり、次世代の子ども達に天の川を残そう
ボランティア募集中!

現在、1200軒以上の協賛店舗・企業等あり!

2020年のオリパラ開催でリユース食器を!

甲府市地球温暖化対策協議会 秋山高広さん

小水力発電
街中太陽光発電
緑のカーテン用のゴーヤ等2500苗育苗
若い人にももっと入してほしい

2015年パリ協定採択の重みを受けとめよう。
「系統継続こそナリ」地道な活動を!

後継者不足などの悩みもあっても、地道に、キラキラと、元気に活動を続ける皆さん。
「キミにできることは!?」の熱いメッセージをいただきました!

みなさんからの情報ボード

◆ゆるくつながり、地域で食もエネルギーもお金もまわす！～トランジション藤野から学ぶ～研修会

トランジションタウンとは持続可能でみんなが笑顔でいられるような社会を創るために、身の丈にあった暮らし、つながりの感じられる生き方を実践しながら、食、エネルギー、お金や仕事を地元で循環させてを地元で循環させて、「自給」を目指す新しい形の市民を目指す新しい形の市民運動です。少ないエネルギーで心豊かに暮らすヒントがそこはありそう。小山さんの話を聞いて、鈴木先生から「エネルギー」の話を聞いて、「循環型社会」の視点を教わり、暮らしを豊かにするヒント探してみませんか？

- ・日時／2018年1月31日(水)13:30～16:00
- ・会場／山梨県立図書館 多目的ホール
- ・ゲスト／小山宮佳江さん(トランジション藤野)、鈴木嘉彦さん(山梨大学 名誉教授)
- ・共催／やまなしエコネットワーク
- ・主催／山梨県地球温暖化防止活動推進センター
- ・対象者／広く一般の方
- ・参加費／無料

●お申込み・お問合せ 山梨県地球温暖化防止活動推進センター(公益財団法人キープ協会)

〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-3011

メール: eco@keep.or.jp URL:<http://www.keep.or.jp/yccca/>

◆ 第8回 低炭素杯2018

★受賞者へプレゼントされるトロフィーの一部には「ますほ里山暮らしを学ぶ会」の木材が使われます！

「低炭素杯」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、市民や他の活動団体に発表することにより、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携や意欲を創出する「場」となることを目指し、平成22年度から開催しています。8回目を迎える「低炭素杯2018」では、「市民部門」「企業部門」「学生部門(高校生以上の取組)」に加えて、中学生以下の取組は「ジュニア・キッズ部門」として、新設することといたしました。

- ・日時／2018年2月15日(木)9:30～17:00(予定)
- ・会場／日経ホール(東京都千代田区大手町)
- ・主催／低炭素杯実行委員会委員長:小宮山 宏(三菱総合研究所 理事長)

●事務局／地球温暖化防止全国ネット 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4階
TEL:03-6273-7785 FAX:03-5280-8100

◆ 地球温暖化防止コミュニケーターセミナーのご案内

地球温暖化防止コミュニケーターとは、地球温暖化に関する情報を人から人に直接伝える‘伝え手’です。「世界の平均気温を産業革命以前から2℃未満に抑える」という国際的な目標を達成するために、気候変動問題への国民の理解と積極的な取組が喫緊の課題であることをあらゆる層の人々に伝え、ひいては民生部門におけるCO2の排出削減につなげることが期待されています。地球温暖化防止活動推進員や気象予報士、企業のCSR・営業担当者、自治体職員、教員、学生など、全国で約2,000名(2016年度末時点)の方が活躍しています。今後の近隣での養成セミナーのご案内です。

*2017年12月23日(土)10時30分～16時30分 新潟薬科大学会場

*2018年2月平日10時30分～15時50分 東京理科大学 会場

*2018年1月30日(火)13時00分～17時00分 名古屋商工会議所

●お問合せ 地球温暖化防止コミュニケーター事務局 communicator@ondankataisaku.env.go.jp

発行:『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL/0551-48-8011 FAX/0551-48-3577

Mail: eco@keep.or.jp URL:<http://www.keep.or.jp/yccca/>